

御部ダムだより

第1号(平成24年度)
平成24年6月
浜田県土整備事務所

洪水期をおかえます。

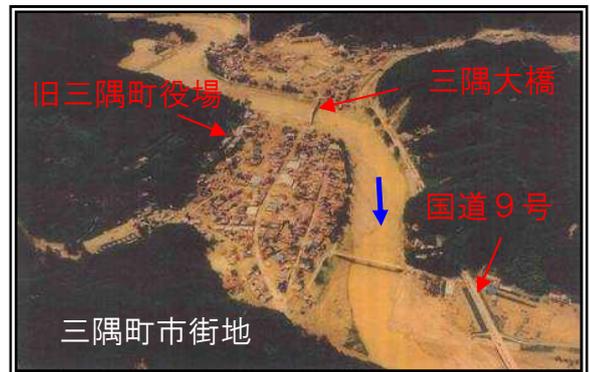
御部ダムでは6月16日から9月30日までを洪水期として管理しています。
洪水期とは、梅雨や台風、その他豪雨により大きな洪水が予想される期間をいい、洪水期までのところで、設備の点検や洪水対応演習をおこない、洪水に備えています。



あの災害を忘れないで！！

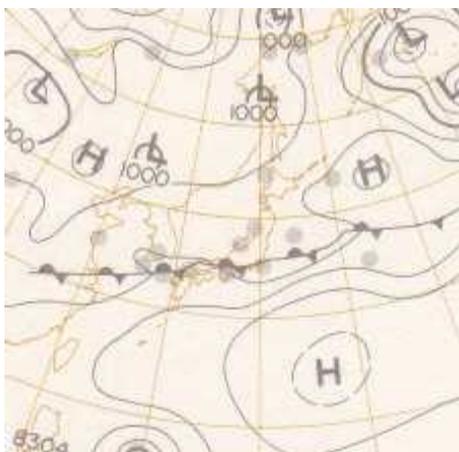
昭和58年7月豪雨は、100年確率規模の記録的な豪雨で、旧三隅町は濁流と流木に呑み込まれ、壊滅的な被害を受けました。

下の資料は気象庁ホームページより抜粋した昭和58年7月豪雨に関する資料です。

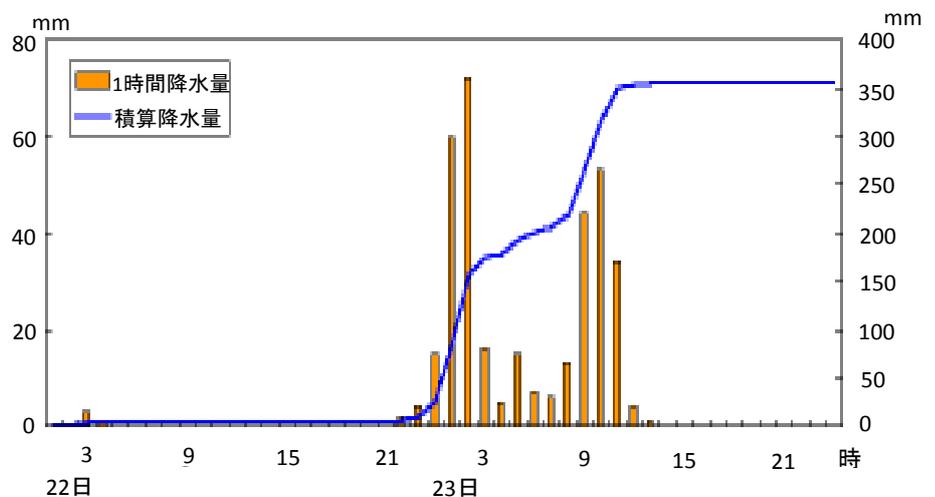


概要

7月20日から21日にかけて、低気圧が日本海を進んで梅雨前線の活動が活発となり、23日にかけて本州の日本海側を中心に大雨となった。特に島根県西部の浜田では、1時間降水量91.0mm(23日)、日降水量331.5mm(23日)を観測するなど記録的な大雨となり、山が崩れ、土石流、洪水が相次いで発生し、100名を超える死者・行方不明者が出た。気象庁は、7月20日から23日にかけての大雨を「昭和58年7月豪雨」と命名した。



天気図 7月23日09時



島根県浜田市(浜田測候所)降水量時系列図

島根県浜田県土整備事務所
御部・大長見ダム管理グループ
〒697-0041 浜田市片庭町254
TEL: 0855-29-5678



シマネスク島根

御部ダム管理所

〒699-3217 浜田市三隅町黒沢2368-6
TEL: 0855-35-1421

洪水に備えた準備

去る5月16日、御部ダム上部から水があふれ出すことを想定し、国交省、警察、消防、浜田市と連携し洪水対応演習を実施しました。

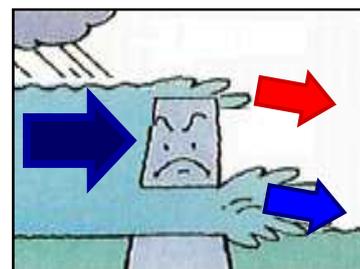
右の写真は演習に先立ち行った関係機関への事前説明会の様子です。
この会議では演習内容の確認と従来からの改善点など意見交換を行いました。



左の写真は演習当日の御部ダム管理所での状況写真で、関係機関へダム情報を伝達しているところです。
当日はその他、警報車での警報活動やサイレンとマイク放送の試験を行いました。

ダムの想定について

昨年は東日本大震災において想定という言葉がキーワードになりましたが、御部ダムの想定をご存じでしょうか？
御部ダムは、昭和58年7月豪雨の規模の降雨を想定して建設されています。
これを超える雨が降ればダムの上部から水があふれ出します。



私たちは、ダムの想定を超えることを想定し、洪水対応演習を毎年実施しています。
皆さんもダムから水があふれることがあるということを前提に、御部ダムのサイレンが鳴った時、どのように行動したらよいか家族の方やご近所の方と話し合ってみてください。

終わりに

今回のダムだよりや御部ダムについて、何でも結構ですので、ご質問等ございましたらお気軽にご連絡ください。

また、今後出前講座等もやっていきたいと考えておりますので、ご要望がございましたらご連絡お願いいたします。

みやび湖周辺では今年もきれいに桜が咲きました！



桜の広場からダム湖を望む



桜の広場



桜の小路